

学校長殿

入試広報課
矢田 守

令和5年度 入試広報課 重点目標（総合評価）

入試広報課の重点目標：『つながりを深める媒体となる』

本校の情報を得たいと考えている外部の方々には、我が校の特色ある教育内容（幅広い進路に対応するコース制や手厚い進路指導など）、充実した学園生活（特色のある行事や活発な部活動など）等、我が校の長所や魅力を十分アピールしていきたい。

在校生に対しては、自分が在籍する学校への愛着を感じ、木更津総合高校の生徒として誇りを持ち、愛校心を育む内容となるよう掲載記事の編集に努める。また規模の大きな学校であるがゆえに、自分と関わりの浅い活動や他ハウスの事情に疎くなりがちである。その情報のギャップを埋める一助となるよう幅の広い情報の収集に努める。

保護者に対しても、学校への理解を深めていただけるよう、校内の出来事や学校行事等の情報を発信していきたい。

自己評価	自己点検・自己評価項目総括	特記事項
3	今年度は、部活と個人の活躍、諸行事も大変盛んとなり、前期、後期とも掲載記事は大いに充実した。当課業務の範疇外のことではあるが、テレビ番組やWeb動画による企業CMへの出演など、本校を世に知らしめる好機を得た年度となった。	コロナ5類移行後、行事、部活は4年前を上まわる活動量となった。掲載件数についても、例年を大きく上回った。

入試広報課の方針

①正確な情報収集と迅速な発信

掲載記事を生き生きとした内容にするためには、常に最新の情報を集め迅速な更新が求められる。拙速なものにならないよう情報を精査し、齟齬や誤謬ない編集を心がける。また、個人情報の管理にも十分配慮する。

自己評価	自己点検・自己評価項目総括	特記事項
2	前期に数件生じた変換ミスは、後期では無くすことができた。個人名の確認が必要な表彰以外の記事では、ほぼ当日掲載を果たすことができた。	課員からは、文章の点検が遅れるという反省が目立った。文章作成については、国語科の教師が必要である。

②入試広報課内の連携と役割分担の徹底

業務内容を確認し各担当者の役割分担を決め、協力し合える体制を整える。

自己評価	自己点検・自己評価項目総括	特記事項
3	課内で役割を決め、戦績の張替え、記事の精査、掲載等を協力して行うことができた。	課長不在のケースでも、課員は協力し合い、停滞なく業務を進めた。

③各ハウス、各部署、生徒会及び部活動顧問との密な連絡

HP上の様々な情報、部活動紹介など、多方面の教職員から協力を得られなければ、成り立たないものばかりである。連絡を密に取り、協力を要請する。

自己評価	自己点検・自己評価項目総括	特記事項
3	部活動ほか、担当教員から写真や情報提供が多く寄せられた。加えて生徒と保護者からも写真の提供があった。HP掲載記事の25%超(143件中36件 R6.3.31現在)でその恩恵を受けた。	戦績については、細部にわたる確認を迅速に行うことができた。部活動顧問の協力が大であった。